

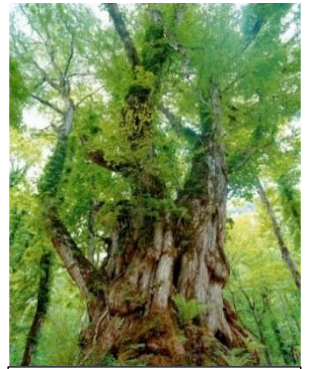
令和5年度

山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【真室川町】

◇団体紹介

真室川町は、山形県の最北端に位置し、総面積は、37,422haに及び、町総面積の約88%・32,859haを森林が占め、そのうち国有林が約8割：26,231ha、残りの約2割：6,629haが民有林です。

また、里山の生活形態の変化等により以前より木に親しむ機会が少なくなったことから、次世代を担う小学生に対して森林資源について学習する場を提供するため、当事業を活用しています。



めこしきやま おお
女 飯 山 の大カツラ

◇活動内容

森や自然とのふれあい活動

町内の子供達が林産物へ親しむ機会を創出するために、「自然環境学習事業」として「木エクラフト体験教室」を開催しました。

あさひ小学校では、木の枝やどんぐり、松ぼっくり等を使用して写真立てを作製しました。

北部小学校では、県産木材を使いマイ箸を作製しました。

木エクラフト体験教室

(あさひ小学校)



(北部小学校)



観光用案内看板



木製テーブル・ベン



木に親しむ環境づくり

県産材の魅力をもっとPRするために「特用林産・県産材利活用事業」として「木製下駄箱、木製テーブル・ベンチ、観光用案内看板」を作製し、保育施設・登山道へ設置しました。

また原木なめこの消費拡大を目指し、普及啓発として、「原木なめこPRパンフレット」を役場庁舎や産地直売所等へ設置しました。

豊かな森づくり活動

「野生動物との共生事業」として「クマ出没注意喚起チラシ」を作製し、町内全戸に配布することで、注意喚起を促しました。

また、「クマ・猪注意喚起幟旗」を作製し、クマや猪の出没箇所へ設置しました。

クマ注意喚起チラシ



クマ注意喚起幟



◇活動の感想及び今後の展開

「森や自然とのふれあい活動」として、「木エクラフト体験教室」を遊学の森の協力のもとに実施し、直接木の枝や木の実に触れながら森林資源の活用について学習する機会の提供が出来ました。

「木に親しむ環境づくり」として、県産材を活用し、木製花壇、木製テーブル・ベンチや観光用案内看板を製作し、保育園や飯山・加無山の登山経路へ設置することで、県産材の魅力幅広くPRすることが出来ました。

「野生動物との共生事業」として、「クマ・猪注意喚起幟旗」を作製・設置することで、有害鳥獣からの人的・農作物被害の防止に努めました。また、「ナラ枯れ被害林再生事業」として、以前、当事業でブナ・ナラを植樹した箇所を降雪前に雪囲いすることで、ナラ枯れによる森林の荒廃を予防することが出来ました。

今後もさらなる森林整備に併せて、子どもたちへ森林や自然と触れ合う機会を増やせるよう体験型の事業に取り組んでいきます。